



使っている花 ■ランキュラス (ラミア、イリス)、ヒヤシンス (チャイナピンク)、ラムズイヤー、ユーカリ・ポボラス

ランキュラス

花言葉 とても魅力的 / 名声・名誉

多彩な花色とふわっと重なる

シルクのような花弁

愛らしい魅力をふりまく春のスター！

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- 固い蕾の状態のものより、開花しているものを選びましょう。植物の性質上、そのほうが茎もしっかりしています。
- 栄養と水が不足すると茎が折れやすくなりますので、切り花栄養剤をぜひ使用しましょう。花も大きく、色も鮮やかにきれいに咲きます！
- 必ず茎を切り戻してから活けましょう。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ①器に切り花栄養剤を加えた水を入れ、口元にラムズイヤーの葉をあしらいます。
- ②水に浸かる部分の葉を取り除いたランキュラスと、多めの葉を整理したヒヤシンスを、手前にやや飛び出すような角度でこんもりと活けます。
- ③最後に、小分けにカットしたユーカリ・ポボラスの実をアクセントに添えます。

ふんわりまあるく、愛されフラワー



ランキュラスはアネモネと同じキンポウゲ科の植物。名前の由来はラテン語の「rana (カエル)」。葉の形がカエルの足に似ているからだそう。日本人育種家により魅力的な新品種が次々とデビュー、世界的にも高い評価を得ています。ふんわりした花姿は女性に大人気、フラワーバレンタインにもおすすめです。旬の2月は花持ちも抜群！



WEEKEND
FLOWER

ランキュラス

花言葉 とても魅力的 / 名声・名誉

多彩な花色とふわっと重なる

シルクのような花弁

愛らしい魅力をふりまく春のスター！

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- 固い蕾の状態のものより、開花しているものを選びましょう。植物の性質上、そのほうが茎もしっかりしています。
- 栄養と水が不足すると茎が折れやすくなりますので、切り花栄養剤をぜひ使用しましょう。花も大きく、色も鮮やかにきれいに咲きます！
- 必ず茎を切り戻してから活けましょう。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ①器に切り花栄養剤を加えた水を入れ、口元にラムズイヤーの葉をあしらいます。
- ②水に浸かる部分の葉を取り除いたランキュラスと、多めの葉を整理したヒヤシンスを、手前にやや飛び出すような角度でこんもりと活けます。
- ③最後に、小分けにカットしたユーカリ・ポボラスの実をアクセントに添えます。

ふんわりまあるく、愛されフラワー



ランキュラスはアネモネと同じキンポウゲ科の植物。名前の由来はラテン語の「rana (カエル)」。葉の形がカエルの足に似ているからだそう。日本人育種家により魅力的な新品種が次々とデビュー、世界的にも高い評価を得ています。ふんわりした花姿は女性に大人気、フラワーバレンタインにもおすすめです。旬の2月は花持ちも抜群！



WEEKEND
FLOWER



使っている花 ■ランキュラス (ラミア、イリス)、ヒヤシンス (チャイナピンク)、ラムズイヤー、ユーカリ・ポボラス



使っている花 ■ランキュラス (ラミア、イリス)、ヒヤシンス (チャイナピンク)、ラムズイヤー、ユーカリ・ポボラス

ランキュラス

花言葉 とても魅力的 / 名声・名誉

多彩な花色とふわっと重なる

シルクのような花弁

愛らしい魅力をふりまく春のスター！

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- 固い蕾の状態のものより、開花しているものを選びましょう。植物の性質上、そのほうが茎もしっかりしています。
- 栄養と水が不足すると茎が折れやすくなりますので、切り花栄養剤をぜひ使用しましょう。花も大きく、色も鮮やかにきれいに咲きます！
- 必ず茎を切り戻してから活けましょう。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ①器に切り花栄養剤を加えた水を入れ、口元にラムズイヤーの葉をあしらいます。
- ②水に浸かる部分の葉を取り除いたランキュラスと、多めの葉を整理したヒヤシンスを、手前にやや飛び出すような角度でこんもりと活けます。
- ③最後に、小分けにカットしたユーカリ・ポボラスの実をアクセントに添えます。

ふんわりまあるく、愛されフラワー



ランキュラスはアネモネと同じキンポウゲ科の植物。名前の由来はラテン語の「rana (カエル)」。葉の形がカエルの足に似ているからだそう。日本人育種家により魅力的な新品種が次々とデビュー、世界的にも高い評価を得ています。ふんわりした花姿は女性に大人気、フラワーバレンタインにもおすすめです。旬の2月は花持ちも抜群！



WEEKEND
FLOWER

ランキュラス

花言葉 とても魅力的 / 名声・名誉

多彩な花色とふわっと重なる

シルクのような花弁

愛らしい魅力をふりまく春のスター！

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- 固い蕾の状態のものより、開花しているものを選びましょう。植物の性質上、そのほうが茎もしっかりしています。
- 栄養と水が不足すると茎が折れやすくなりますので、切り花栄養剤をぜひ使用しましょう。花も大きく、色も鮮やかにきれいに咲きます！
- 必ず茎を切り戻してから活けましょう。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ①器に切り花栄養剤を加えた水を入れ、口元にラムズイヤーの葉をあしらいます。
- ②水に浸かる部分の葉を取り除いたランキュラスと、多めの葉を整理したヒヤシンスを、手前にやや飛び出すような角度でこんもりと活けます。
- ③最後に、小分けにカットしたユーカリ・ポボラスの実をアクセントに添えます。

ふんわりまあるく、愛されフラワー



ランキュラスはアネモネと同じキンポウゲ科の植物。名前の由来はラテン語の「rana (カエル)」。葉の形がカエルの足に似ているからだそう。日本人育種家により魅力的な新品種が次々とデビュー、世界的にも高い評価を得ています。ふんわりした花姿は女性に大人気、フラワーバレンタインにもおすすめです。旬の2月は花持ちも抜群！



WEEKEND
FLOWER



使っている花 ■ランキュラス (ラミア、イリス)、ヒヤシンス (チャイナピンク)、ラムズイヤー、ユーカリ・ポボラス